

採用企業に聞いた！ 半導体技術者検定を推薦するワケ

— 人材育成に注力し、「チーム制」を強みとする株式会社KSKの場合 —



パワーデバイス・イネーブリング協会(PDEA)では、半導体業界における人材育成を目的として半導体技術者検定を実施している。半導体業界を中心にこれまで延べ約1,000人が検定を受験している。

この検定では半導体の基礎から開発、製造、テスト、品質保証に関して一定の基準で資格を付与。半導体の設計・製造・テストエンジニア、品質保証、半導体を利用した回路設計エンジニアなど、半導体に関わる技術者の地位向上、社会認知度の向上のほか、目標、学習の指針となることを目指す検定制度となっている。

半導体技術者検定は、エレクトロニクス3級、エレクトロニクス2級、エレクトロニクス1級から構成されている。3級は、若手エンジニアを対象として基礎知識を持つ人材であ

ることを認定。2級は、「設計と製造」、「応用と品質」、「パワーエレクトロニクス」の3種類があり、それぞれの分野で専門知識を持つ人材であることを認定する。1級は高度な実務的な課題に対して俯瞰的な視点から解を導きだせる指導的な立場のエンジニアを対象としており、3種類の2級検定全てに合格することが必要である。

今回は、事業部を挙げて半導体技術者検定を人材育成に活用している株式会社KSK システムソリューション事業本部の古賀隆俊本部長、技術教育を推進され自身も半導体技術者検定の有資格者である高田英夫マネージャー、土谷溪氏、そして、今年度エレクトロニクス3級を取得した中川恵介氏、木下翔馬氏にインタビューする機会を得た。



▲古賀隆俊本部長

「私どもの部門は、マイコン、メモリの半導体設計・開発、組み込みシステム開発を主力に業務請負を軸として事業を展開しています。この事業でお客様に満足いただくためには、半導体を作る側の技術者と半導体を使う側の技術者、それぞれ両方の技術スキルとチーム力の向上が重要になります。」と語るのは、古賀本部長だ。多数の技術者が半導体技術者検定に臨む背景には、組織的かつ継続的な人間・技術の育成強化を重要視する企業風土があると説明する。

「業務を支える設計／検証、評価／信頼性を中心とした半導体技術スキルの見える化とスキル強化に活用できる公的検定を探索していたところ、2016年にPDEAの存在を知り、半導体技術者検定に出会いました。もちろん、自ら受験し、“これだ！”と確信しました。」と語るの



▲高田英夫マネージャー

は、高田マネージャーだ。彼は技術教育の担当責任者を任され、半導体に関わる技術者のスキルアップの一環として半導体技術者検定制度に着目した。2018年からは『はかる×わかる半導体 入門編』を社内教育テキストとして正



▲土谷 深氏

式採用し、同時に半導体技術者検定の受験を社内へ積極的に推奨している。

その高田マネージャーから直接指導を受けて3級を取得したのが、土谷氏だ。「もともと情報処理技術者でしたが、公式テキストの『はかる×わかる半導体 入門編』は、

広範囲に渡る半導体技術の全容を簡単に見渡せるので、担当業務や全体の中の位置付けを短期間で理解できました。また、専門用語が簡潔に解説されており、検索も容易なのでハンドブック・辞書として常に携帯、活用しています。」と語った。現在、土谷氏は、自らの経験を活かし、若手向け半導体技術教育の担当講師としても活躍中だ。

社内教育制度を利用して3級を取得した中川氏は、「大学では化学を専攻でしたが、



▲中川 恵介氏

半導体技術者検定の受験勉強で得た知識が現場で役立っています。現在、パワーデバイス駆動ICの設計、評価を担当しています。優れた設計者になるには、その駆動対象となるパワーデバイスを知ることが重要です。ぜひ、

2級に挑戦し、自分のスキルとチーム力向上に繋げていきたいです。」とステップアップへの意欲を語った。

木下氏も社内教育制度を利用して3級を取得した一人だ。「入社後6か月間は、『はかる×わかる半導体 入門編』と『はかる×わかる半導体 3



▲木下 翔馬氏

級問題集』を使った自己学習と土谷氏を講師とする社内講習会を併用して合格しました。私も大学は化学専攻だったので、ほとんど半導体の知識を持っていませんでした。しかし、受験勉強のおかげで、配属先の半導体技術者達とスムーズに会話できるようになりました。もちろん上位資格を狙っています。」と意欲を語った。

株式会社KSKでは、今後もPDEAの半導体技術者検定制度を活用して社員のスキルアップやモチベーション向上を図っていくという。具体的には、スキルマップの推奨資格や新人研修の卒業試験への活用などだ。さらに、今後は、クルマの電動化を支えるパワーエレクトロニクス向け半導体設計・評価事業の強化にも取り組んでいきたいという。

PDEAでは、半導体技術者検定制度がこうしたユーザーの教育制度、事業拡大の一助となるよう、今後も業界への認知度向上に努めていく考えだ。

半導体技術者検定【3級】【2級】

1級は、2級の3科目の検定「設計と製造」、「応用と品質」、「パワーエレクトロニクス」のすべてに合格された方を1級として認定いたします。

検定名	エレクトロニクス3級 エレクトロニクス2級「設計と製造」 / エレクトロニクス2級「応用と品質」 エレクトロニクス2級「パワーエレクトロニクス」
試験会場	全国約260カ所 CBT(Computer Based Testing)方式で実施予定 (受験生が全国47都道府県、全国約260カ所のテストセンターの中から、都合の良い受験地、日時を予約し、テストセンターにてPCの画面に提示された問題に解答することで検定を受験する方式。)
受験資格	半導体デバイスに興味のある方ならどなたでも受験可能です。年齢、経験等の制限はありません。
受験料	3級 一般：¥9,000 (税別) 学生：¥6,000 (税別) パワーデバイス・イネーブリング協会会員企業の社員：¥6,000 (税別) 2級 一般：¥12,000 (税別) 学生：¥9,000 (税別) パワーデバイス・イネーブリング協会会員企業の社員：¥9,000 (税別)

詳しくは当協会のホームページをご参照ください。
メールマガジンにて検定の最新情報をお届けします。
是非ご登録ください。

<https://www.secc.pdea.jp/>



April 2020